

2017 年度細胞診専門医資格認定試験

<細胞像問題>

問題 1 60 歳、女性。 検診、 子宮頸部、 ブラシ擦過。

1. NILM (レプトトリックス感染)
2. NILM(ヘルペスウイルス感染)
3. NILM(慢性頸管炎)
4. HSIL(上皮内癌)
5. 悪性リンパ腫

問題 2 40 歳、女性。 不正性器出血、 子宮頸部、 ブラシ擦過。

1. NILM (慢性頸管炎)
2. NILM (卵管上皮化生)
3. LSIL(軽度異形成)
4. HSIL (中等度異形成)
5. HSIL(上皮内癌)

問題 3 50 歳、女性。 帯下増加、 子宮頸部、 ブラシ擦過。

1. NILM(萎縮性膣炎)
2. NILM (カンジダ感染)
3. NILM(トリコモナス感染)
4. NILM (クラミジア感染)
5. LSIL (軽度異形成)

問題 4 40 歳、女性。 不正性器出血、 子宮頸部、 ブラシ擦過。

1. NILM (修復細胞)
2. HSIL (中等度異形成)
3. HSIL(上皮内癌)
4. 非角化型扁平上皮癌
5. 腺癌

問題 5 35 歳、女性。 検診 子宮腔部擦過ブラシ

1. NILM (妊娠性変化)
2. NILM(扁平上皮化生)
3. NILM (ガードネラ感染)
4. LSIL (軽度異形成)
5. HSIL (中等度異形成)

問題 6 65 歳、女性。不正性器出血、子宮頸部、ブラシ擦過。

1. HSIL（中等度異形成）
2. HSIL(上皮内癌)
3. AIS（上皮内腺癌）
4. 非角化型扁平上皮癌
5. 小細胞癌

問題 7 75 歳、女性。不正性器出血、子宮内膜、ブラシ擦過。

1. 角化型扁平上皮癌
2. 粘液性癌
3. 類内膜癌 G1
4. 類内膜癌 G3
5. 子宮内膜間質肉腫

問題 8 35 歳、女性。不正性器出血、分娩歴あり、血中 hCG 低値、子宮内膜ブラシ擦過。

1. 分泌期内膜
2. 異所性妊娠
3. 進行流産
4. 胎盤部トロホプラスト腫瘍（PSTT）
5. 絨毛癌

問題 9 35 歳、女性。月経不順、子宮内膜、吸引。

1. 増殖期内膜
2. 分泌期内膜
3. 単純型子宮内膜増殖症
4. 複雑型子宮内膜異型増殖症
5. 類内膜癌 G1

問題 10 55 歳、女性。卵巣腫瘍、腫瘍捺印。

1. 漿液性腺腫
2. ブレンナー腫瘍
3. 顆粒膜細胞腫
4. 明細胞癌
5. 漿液性癌

問題 11 45 歳、男性。 血痰精査、 気管支擦過。

1. 基底細胞
2. 気管支上皮細胞
3. 扁平上皮癌
4. 腺癌
5. 腺様嚢胞癌

問題 12 61 歳、男性。 血痰精査、 気管支擦過。

1. 気管支上皮細胞
2. 肺扁平上皮癌
3. 腺様嚢胞癌
4. 転移性肺腫瘍 (腎癌)
5. 転移性肺腫瘍 (大腸癌)

問題 13 76 歳、男性。 胸部 X 線異常影精査、 気管支擦過。

1. 気管支上皮細胞
2. 定型的カルチノイド腫瘍
3. 腺癌
4. 扁平上皮癌
5. 腺様嚢胞癌

問題 14 43 歳、男性。 右肺上葉腫瘍、 40x35mm 大、 腫瘍捺印。

1. 腺癌
2. 扁平上皮癌
3. 腺様嚢胞癌
4. 大細胞癌
5. 異型カルチノイド腫瘍

問題 15 81 歳、男性。 排尿困難、 自然尿。

1. 正常尿路上皮細胞
2. マラコプラキア
3. ウイルス感染細胞
4. 高異型度尿路上皮癌
5. 腺癌

問題 16 70 歳、女性。 尿混濁、 自然尿。

1. 正常尿路上皮細胞
2. ウイルス感染細胞
3. 尿路上皮癌
4. 腎細胞癌
5. 悪性中皮腫

問題 17 70 歳、女性。 黄疸、 胆汁細胞診。

1. 組織球集塊
2. 胆管円柱上皮細胞
3. 胆管上皮細胞過形成
4. 異型再生胆管上皮細胞
5. 腺癌

問題 18 54 歳、男性。 背部痛、 膝液（術中採取）。

1. 反応性上皮過形成
2. 粘液性嚢胞性腫瘍
3. 漿液性嚢胞腺腫
4. 内分泌腫瘍
5. 浸潤性膝管癌

問題 19 84 歳、女性。 右乳腺腫瘤、 腫瘤穿刺吸引。

1. 乳腺症
2. 線維腺腫
3. 小葉癌
4. 腺様嚢胞癌
5. 浸潤性微小乳頭癌

問題 20 50 歳、女性。 甲状腺腫瘤、 腫瘤穿刺吸引。

1. 濾胞性腫瘍
2. 乳頭癌
3. 髓様癌
4. 未分化癌
5. 悪性リンパ腫

問題 21 50 歳、男性。 左耳後部腫瘤、 腫瘤穿刺吸引。

1. 多形腺腫
2. 粘表皮癌
3. 腺様嚢胞癌
4. 腺癌
5. 扁平上皮癌

問題 22 14 歳、男性。 下垂体茎部腫瘤、 腫瘤捺印。

1. 好酸性細胞下垂体腺腫
2. 嫌色素性細胞下垂体腺腫
3. 頭蓋咽頭腫
4. 悪性リンパ腫
5. 胚細胞腫

問題 23 21 歳、男性。 発熱、白血球減少およびリンパ節腫脹、 リンパ節捺印。

1. 後天的トキソプラズマリンパ節炎
2. 結核性リンパ節炎
3. 壊死性リンパ節炎
4. びまん性大細胞型リンパ腫
5. 古典的ホジキンリンパ腫

問題 24 4 ヶ月、男児。右大腿部腫瘤、 60x30mm 大、腫瘤捺印。(下段はギムザ染色)

1. リンパ球
2. 形質細胞
3. 脂肪肉腫
4. **Ewing** 肉腫
5. 平滑筋肉腫

問題 25 80 歳、女性。 右卵巣腫瘤、 腹水貯留、 腹水。

1. 類内膜癌
2. 卵黄嚢腫瘍
3. 高異型度漿液性癌
4. 顆粒膜細胞腫
5. 悪性中皮腫

<筆記問題>

問題 26 日本臨床細胞学会認定施設に対する精度管理ガイドラインについて正しいのはどれか。

1. 全症例に対し細胞検査士がダブルチェックを行う。
2. 細胞検査士の検査検体数量の記録は作成しなくてよい。
3. 陰性報告において細胞診専門医の判定と署名は必要ない。
4. 修正および追加報告書が作成された場合、元の報告書を含めて保存する。
5. 日本臨床細胞学会の主催する外部精度管理プログラムに参加しなければならない。

問題 27 細胞診の染色について正しいのはどれか。

1. ギムザ染色では、間質性粘液は異染性を示さない。
2. ギムザ染色では、細胞量により染色時間を調整する必要はない。
3. パパニコロウ染色は、重積した細胞集団の観察に適さない。
4. パパニコロウ染色は、ギムザ染色よりも細胞剥離が起こりにくい。
5. パパニコロウ染色で、固定前の乾燥により核クロマチンの不明瞭化が生じる。

問題 28 液状化検体細胞診法について誤っているのはどれか。

1. 再検が容易となる。
2. 遺伝子検索が容易である。
3. 乾燥に伴う不適性標本を減少させる。
4. 均一に塗抹された標本が作製できない。
5. 固定液に細胞を浮遊させるため細胞形態に変化が生じる。

問題 29 染色法について誤っているのはどれか。

1. ズダンⅢ染色は、リン脂質を染色する。
2. ムチカルミン染色は、間質粘液を染色する。
3. PAS 反応は、グリコーゲン顆粒を染色する。
4. チール・ネルゼン染色は、抗酸菌を染色する。
5. アルシアン青染色は、酸性ムコ多糖類を染色する。

問題 30 遺伝子転座を可視化する証明法として正しいのはどれか。

1. FISH 法
2. RT-PCR 法
3. ノザンブロット法
4. サザンブロット法
5. ウェスタンブロット法

問題 31 卵巣腫瘍の細胞像について正しい組み合わせはどれか。

1. 漿液性癌 — Reinke 結晶
2. 卵黄嚢腫瘍 — Call-Exner body
3. 顆粒膜細胞腫 — hyaline globules
4. 卵巣甲状腺腫 — Schiller-Duval body
5. ブレンナー腫瘍 — コーヒー豆様核

問題 32 高齢者の膣細胞診で細胞成熟指数(M.I.)が右方移動を示す原因について誤っているのはどれか。

1. カルチノイド
2. 卵巣莢膜細胞腫
3. 卵巣顆粒膜細胞腫
4. タモキシフェンの内服
5. 更年期障害のホルモン療法

問題 33 子宮頸がん検診について正しいのはどれか。

1. 採取器具の中で、ヘラは推奨されない。
2. 対策型検診では、HPV 併用検診が 8 割を占める。
3. 扁平・円柱上皮境界部より頸管側の細胞を採取する
4. ASC-US は、直ちにコルポスコピー・生検が推奨される。
5. ベセスダシステムでは NILM 以外すべて二次検診の対象となる。

問題 34 子宮頸部細胞診でもっとも検出が困難な感染症はどれか。

1. 梅毒
2. カンジダ
3. ヘルペス
4. クラミジア
5. トリコモナス

問題 35 正常な子宮内膜の細胞像として誤っている組み合わせはどれか。

1. 増殖期内膜 — 腺管は直線状
2. 増殖期内膜 — 分泌期に比べて核・細胞質比が低い
3. 分泌期内膜 — 腺管は拡大
4. 分泌期内膜 — 核分裂像はめだたない
5. 閉経期内膜 — シート状集塊

問題 36 子宮頸部腺癌の細胞診所見として誤っているのはどれか。

1. 細胞質が薄い。
2. 核小体が目立つ。
3. 核を中心性にみとめる。
4. 細胞質内に粘液空胞をみる。
5. 細胞集塊は、重積性を示す。

問題 37 喀痰細胞診について正しいのはどれか。

1. 早朝起床時の喀痰を採取する。
2. 塗抹後は乾燥させてから固定する。
3. 肺がん検診は2日間の蓄痰法で行う。
4. 肺末梢型早期肺癌の検出を目的として行う。
5. 喀痰が検査に耐え得る時間は室温では24時間以内である。

問題 38 肺腫瘍と細胞所見の組み合わせについて誤っているのはどれか。

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 過誤腫 | - 硝子様軟骨細胞 |
| 2. 腺癌 | - 偏在核 |
| 3. 小細胞癌 | - 双極裸核細胞 |
| 4. 粘表皮癌 | - 中間細胞 |
| 5. 腺様嚢胞癌 | - 粘液物質 |

問題 39 原発性肺腺癌の細胞で陰性となる抗体はどれか。

1. CK7
2. p63
3. PE10
4. TTF-1
5. Napsin-A

問題 40 尿細胞診について正しいのはどれか。

1. デコイ細胞は、主に集塊状に出現する。
2. 自然尿中において精子が時に混入する。
3. アンブレラ細胞の出現は、悪性を強く示唆する。
4. 自然尿は、カテーテル尿に比べ、詳細な核所見が得られる。
5. 自然尿では、膀胱洗浄尿よりも多数の尿路上皮細胞が出現する。

問題 41 尿路腫瘍の尿細胞所見について誤っているのはどれか。

1. 尿路上皮内癌は、異型が弱い。
2. 尿路上皮内癌の背景は、きれいである。
3. 低異型度尿路上皮癌では、偽陰性となりやすい。
4. 高異型度尿路上皮癌では、孤在性の出現態度がみられる。
5. 高異型度尿路上皮癌では、集塊からの核の突出がみられる。

問題 42 乳腺病変の細胞像として適切でない組み合わせはどれか。

- | | | |
|------------|---|----------|
| 1. 線維腺腫 | — | 双極裸核 |
| 2. 髓様癌 | — | リンパ球背景 |
| 3. 小葉癌 | — | 細胞質内小腺腔 |
| 4. 管状癌 | — | 形質細胞様癌細胞 |
| 5. Paget 病 | — | 大型核小体 |

問題 43 甲状腺病変の細胞像として適切でない組み合わせはどれか。

- | | | |
|------------|---|----------|
| 1. 橋本病 | — | 好酸球 |
| 2. 亜急性甲状腺炎 | — | 多核巨細胞 |
| 3. 乳頭癌 | — | ローピーコロイド |
| 4. 髓様癌 | — | アミロイド物質 |
| 5. 未分化癌 | — | 壊死性背景 |

問題 44 胃腫瘍に関して正しいのはどれか。

1. 腺腫は、腸上皮化生と関連しない。
2. MALT リンパ腫は、リンパ上皮性病変を形成しない。
3. 消化管間質腫瘍 (GIST) は、カハール細胞を由来としない。
4. 消化管間質腫瘍 (GIST) の診断に Dog-1 免疫染色が有用である。
5. 腹腔洗浄細胞診で癌細胞を認めても他臓器への転移として扱わない。

問題 45 咽頭扁平上皮癌のリンパ節転移巣で陽性頻度の高い免疫染色マーカーはどれか。

1. PSA
2. CEA
3. p16
4. CA125
5. TTF-1

選択問題 A

問題 46 性器感染症と細胞所見について誤っている組み合わせはどれか。

1. カンジダ感染 — 仮性菌糸
2. 尖圭コンジローマ — koilocyte
3. トリコモナス感染 — cannon ball
4. ガードネレラ感染 — clue cell
5. レプトトリックス感染 — 核内封入体

問題 47 子宮頸部腺癌について正しいのはどれか。

1. 子宮頸がん全体の約 5%を占める。
2. 癌の発生に、HPV11 型が関与している。
3. 上皮内腺癌は高度扁平上皮内病変と共存しない。
4. 腺異形成は上皮内腺癌の前駆病変と定義されている。
5. 最小偏倚腺癌は胃型粘液性癌の亜型に分類されている。

問題 48 卵巣の高異型度漿液性癌について誤っているのはどれか。

1. 卵巣がんの組織型で最も頻度が高い。
2. 90%以上の症例で TP53 変異が認められている。
3. 約 40%に BRCA1/2 遺伝子変異が認められている。
4. 発生において、卵管上皮起源説が言われている。
5. 低異型度漿液性腺癌に比べ抗がん剤の感受性が高い。

問題 49 HPV について正しいのはどれか。

1. 約 80%は持続感染である。
2. 18 型は最小偏倚腺癌の発生に関与する。
3. 6 型は尖圭コンジローマの発生に関与する。
4. ハイリスク型陽性の場合には細胞診異常が認められる。
5. ASC-US に対しては HPV ジェノタイプ検査が推奨される。

問題 50 子宮頸部細胞診所見について誤っている組み合わせはどれか。

1. 妊娠 — 舟形細胞
2. 高度異形成 — 傍基底型異型細胞
3. 上皮内腺癌 — 羽毛状細胞集塊
4. 角化型扁平上皮癌 — オタマジヤクシ型細胞
5. 粘液性癌 — 異常角化細胞

選択問題 B

問題 46 肺癌の予後不良に関わる因子はどれか。

1. 好中球浸潤
2. 肺胞置換増殖
3. 弾性線維増生
4. 形質細胞浸潤
5. 微小乳頭状パターン

問題 47 核に発現する筋上皮マーカーはどれか。

1. p40
2. HER2
3. CD10
4. GCDFP15
5. α -smooth muscle actin

問題 48 多形腺腫について誤っているのはどれか。

1. 悪性転化を示す。
2. リンパ球増生を伴う。
3. 軟骨様組織がみられる。
4. 全唾液腺腫瘍の中で最も多い。
5. 筋上皮細胞と導管上皮細胞の増生がみられる。

問題 49 体腔液細胞診について正しいのはどれか。

1. 悪性中皮腫の組織型としては、二相型が最も多い。
2. 中皮腫細胞は、アルシアン青染色に陰性である。
3. 胸水中に出現する中皮腫細胞は、上皮様成分である。
4. 砂粒体を伴った乳頭状集塊出現は、腹膜偽粘液腫の特徴である。
5. 腹水中の印環細胞癌は、細胞間に”窓 window”を形成するのが特徴である。

問題 50 骨軟部腫瘍のなかで上皮性格をもつものはどれか。

1. 骨肉腫
2. 脂肪肉腫
3. 滑膜肉腫
4. 軟骨肉腫
5. 横紋筋肉腫

選択問題 C

問題 46 口腔粘膜疾患の判定区分について正しいのはどれか。

1. 検体不適正は IFN である。
2. 扁平苔癬は OLSIL である。
3. 尋常性天疱瘡は OHSIL である。
4. 中等度上皮異形成は NILM である。
5. SCC の細胞判定後は、速やかに生検を行う。

問題 47 感染すると核内封入体を形成するのはどれか。

1. 風疹ウイルス
2. コクサッキーウイルス
3. サイトメガロウイルス
4. ヒト免疫不全ウイルス
5. ヒトパピローマウイルス

問題 48 結核結節に見られるマクロファージ由来の多核巨細胞はどれか。

1. 破骨型
2. 異物型
3. Touton 型
4. Langhans 型
5. Reed-Sternberg

問題 49 腺房細胞癌の細胞質内顆粒はどれか。

1. メラニン
2. バーベック
3. チモーゲン
4. ヘモジデリン
5. ケラトヒアリン

問題 50 口腔粘膜上皮異形成にみられる細胞異型で誤っているのはどれか。

1. 核小体の明瞭化
2. 異型核分裂像の出現
3. 核クロマチンの増量
4. 核・細胞質比の増加
5. 滴状の上皮釘脚形態

<鏡検問題>

総合科

問題 1 80歳、女性 不正性器出血 子宮頸部・ブラシ擦過

1. NILM (カンジダ膣炎)
2. NILM (萎縮性膣炎)
3. LSIL (軽度異形成)
4. HSIL (上皮内癌)
5. 扁平上皮癌

問題 2 64歳、女性 不正性器出血 子宮内膜・エンドサイト擦過

1. 子宮内膜増殖症
2. 類内膜癌(G1)
3. 明細胞癌
4. 漿液性癌
5. 扁平上皮癌

問題 3 52歳、女性 不正性器出血 子宮内膜・エンドサイト擦過

1. 増殖期内膜
2. 子宮内膜増殖症
3. 類内膜癌(G1)
4. 類内膜癌(G3)
5. 明細胞癌

問題 4 42歳、女性 検診 子宮内膜・エンドサイト擦過

1. 増殖期内膜
2. 分泌期内膜
3. 脱落膜
4. 子宮内膜異型増殖症
5. 類内膜癌(G1)

問題 5 38歳、女性 検診 子宮頸部・ブラシ擦過

1. NILM (修復細胞)
2. NILM (扁平上皮化生細胞)
3. LSIL (軽度異形成)
4. HSIL (高度異形成)
5. 扁平上皮癌

問題 6 48歳、女性 検診 子宮頸管・ブラシ擦過

1. NILM (頸管腺細胞)
2. NILM (慢性頸管炎)
3. AIS (上皮内腺癌)
4. 扁平上皮癌
5. 腺癌

問題 7 60歳、女性 不正性器出血 子宮頸部・ブラシ擦過

1. NILM (頸管腺細胞)
2. NILM (予備細胞増生)
3. AIS (上皮内腺癌)
4. 扁平上皮癌
5. 腺癌

問題 8 55歳、女性 不正性器出血 子宮頸部・ブラシ擦過

1. NILM (萎縮)
2. HSIL (高度異形成)
3. 扁平上皮癌
4. 腺癌
5. 小細胞癌

問題 9 60歳、女性 不正性器出血、腹部腫瘍 腹水・穿刺

1. 類内膜癌
2. 明細胞癌
3. 悪性中皮腫
4. 顆粒膜細胞腫
5. 悪性ブレンナー腫瘍

問題 10 43歳、女性 検診 子宮頸部・ブラシ擦過

1. NILM (修復細胞)
2. NILM (扁平上皮化生細胞)
3. LSIL (軽度異形成)
4. HSIL (高度異形成)
5. 扁平上皮癌

問題 11 50 歳、女性 膀胱がん術後 腹水穿刺吸引

1. 化膿性腹膜炎
2. 子宮内膜症
3. 反応性中皮増生
4. 悪性リンパ腫
5. 膀胱がん再発

問題 12 65 歳、男性 肉眼的血尿 自然尿

1. 正常尿路上皮細胞
2. 尿路上皮乳頭腫
3. 腺癌
4. 尿路上皮内癌
5. 浸潤性尿路上皮癌

問題 13 76 歳、男性 血痰 気管支擦過

1. 定型カルチノイド
2. 扁平上皮癌
3. 腺癌
4. 小細胞癌
5. 腺様嚢胞癌

問題 14 78 歳、男性 検診で異常陰影 気管支擦過

1. 気管支肺炎
2. 肺化膿症
3. 腺癌
4. 大細胞癌
5. 悪性リンパ腫

問題 15 62 歳、女性 検診で前縦隔腫瘤 腫瘤捺印

1. 胸腺腫
2. 胸腺癌
3. 小細胞癌
4. 胚細胞腫瘍
5. 悪性黒色腫

問題 16 73 歳、男性 左胸水貯留 穿刺吸引

1. 反応性中皮
2. 組織球
3. 悪性中皮腫
4. 肺扁平上皮癌
5. 肺腺癌

問題 17 44 歳、女性 乳腺しこり 腫瘤捺印

1. 線維腺腫
2. 乳管内乳頭腫
3. 浸潤性乳管癌
4. 浸潤性小葉癌
5. 髓様癌

問題 18 69 歳、男性 膵頭部腫瘤 穿刺吸引

1. 神経内分泌腫瘍 (NET G1)
2. 漿液性嚢胞腺腫
3. 充実性偽乳頭状腫瘍
4. 腺房細胞癌
5. 浸潤性膵管癌

問題 19 59 歳、女性 左頸部リンパ節 穿刺吸引

1. 扁平上皮癌
2. 腺癌
3. 小細胞癌
4. 悪性リンパ腫
5. 悪性黒色腫

問題 20 59 歳、女性 甲状腺腫瘤 穿刺吸引

1. 亜急性甲状腺炎
2. 慢性甲状腺炎
3. 濾胞性腫瘍
4. 乳頭癌
5. 髓様癌

<鏡検問題>

歯科

問題 1 40歳、女性 口蓋腫瘤 穿刺吸引

1. 粘液嚢胞
2. 多形腺腫
3. 腺房細胞癌
4. 粘表皮癌
5. 腺様嚢胞癌

問題 2 70歳、男性 頸部リンパ節腫大 穿刺吸引

1. リンパ節炎
2. 腺癌
3. 扁平上皮癌
4. 悪性リンパ腫
5. 悪性黒色腫

問題 3 42歳、男性 顎骨内病変 穿刺吸引

1. 歯根嚢胞
2. 含歯性嚢胞
3. 角化嚢胞性歯原性腫瘍
4. エナメル上皮腫
5. 原発性骨内扁平上皮癌

問題 4 60歳、男性 頬部腫瘤 穿刺吸引

1. 粘液嚢胞
2. 多形腺腫
3. 腺房細胞癌
4. 粘表皮癌
5. 腺様嚢胞癌

問題 5 67歳、男性 頬粘膜病変 綿棒擦過

1. NILM (過角化症)
2. NILM (ヘルペスウイルス感染)
3. NILM (尋常性天疱瘡)
4. OHSIL (高度上皮異形成)
5. 扁平上皮癌

問題 6 80歳、男性 頸部リンパ節腫大 穿刺吸引

1. リンパ節炎
2. 腺癌
3. 扁平上皮癌
4. 悪性リンパ腫
5. 悪性黒色腫

問題 7 42歳、女性 頬粘膜びらん 綿棒擦過

1. NILM (過角化症)
2. NILM (ヘルペスウイルス感染)
3. NILM (尋常性天疱瘡)
4. OHSIL (高度上皮異形成)
5. 扁平上皮癌

問題 8 60歳、男性 頬粘膜潰瘍 綿棒擦過

1. NILM (過角化症)
2. NILM (ヘルペスウイルス感染)
3. NILM (尋常性天疱瘡)
4. OHSIL (高度上皮異形成)
5. 扁平上皮癌

問題 9 65歳、男性 頸部リンパ節腫大 穿刺吸引

1. リンパ節炎
2. 腺癌
3. 扁平上皮癌
4. 悪性リンパ腫
5. 悪性黒色腫

問題 10 44歳、男性 歯肉びらん 綿棒擦過

1. NILM (過角化症)
2. NILM (ヘルペスウイルス感染)
3. NILM (尋常性天疱瘡)
4. OHSIL (高度上皮異形成)
5. 扁平上皮癌

問題 11 33 歳、女性 顎下部腫瘍 穿刺吸引

1. 粘液嚢胞
2. 多形腺腫
3. 腺房細胞癌
4. 粘表皮癌
5. 腺様嚢胞癌

問題 12 32 歳、女性 顎骨内病変 穿刺吸引

1. 歯根嚢胞
2. 含歯性嚢胞
3. 角化嚢胞性歯原性腫瘍
4. エナメル上皮腫
5. 原発性骨内扁平上皮癌